

令和6年11月・12月の活動報告

※活動の一部を抜粋してご報告します

福島県議会議員

渡辺康平

県政レポート

第19号

令和7年・ 昭和100年・戦後80年の幕開け

令和7年の幕開けにあたり、皆様が新春を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は県議2期目の初年度として、緊張感を新たに活動に取り組みました。総務委員会副委員長として、総務部、危機管理部、人事委員会などを中心に予算や議案の審議に携わり、地元選出議員としての責任を果たすことを心掛けてまいりました。今年も県民の皆様から寄せられた信頼に応えるべく、一層努力してまいります。

さて、本年は昭和100年、戦後80年という大きな節目を迎えます。昭和という時代は、幾多の試練を乗り越えながら、戦後復興とともに日本の未来を築いてきました。この歴史を振り返り、先人たちの努力に感謝するとともに、私たちもその志を受け継ぎ、未来を切り拓く役割を果たしていきたいと考えます。

また、戦後80年を迎える今、私たちが享受する平和と繁栄が、多くの犠牲と努力の上に築かれたものであることを改めて胸に刻む年でもあります。この節目に際し、感謝の思いを胸に、次世代へより良い未来を託すべく努めてまいりましょう。

最後に、本年の干支は乙巳（きのと・み）です。巳は成長と変化の象徴とされ、熟成した力を未来へ向ける年とされています。巳年は日本が大きく飛躍した出来事が多く記録されています。本年が変革と成長に満ちた重要な一年となることを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

渡辺こうへい
への連絡先

連合後援会事務所 〒962-0013 須賀川市岡東町141
TEL 0248-94-5380 FAX 0248-94-5382

11月5日・6日



避難地域復興・産業振興対策特別委員会として双葉郡における復興の現状と課題について調査しました。大熊町のイチゴ工場、富岡町の野菜カット工場は共に人手不足に悩んでいます。全国的に人材確保が困難の中で、いかに解決していくか課題が山積しています。具体的な改善策を模索するため、地元の声を集約し政策立案に活用しています。

11月15日



私が所属する会派・自由民主党福島県議会議員会による「令和7年度県政に対する重点要望」「令和6年度12月定例議会要望書」を知事に申し入れました。物価高対策、医療福祉の充実、教育予算の充実などを要望しています。

12月3日~18日



令和6年12月県議会定例会が開催されました。令和6年度福島県一般会計補正予算は、復興・創生に要する経費など67億1900万円を可決しています。

11月23日



東京都内で開かれた北朝鮮による全拉致被害者の即時一括帰国を求める全国集会に参加しました。福島県議会の拉致議連から12名が参加しています。

新しい県政報告会 「須賀川政治LABO」

「須賀川政治LABO」を須賀川市民交流センターで開催しています。これまで地域の集会所で行っていた県政報告会だけではなく、誰でも参加できる県政報告会をモットーに県政の内容から選挙の仕組みなど、様々な話をしています。ぜひご参加ください。
※ご案内は私のSNSで発信しています。



地域の要望を届けていきます

県道141号玉川田村線の須賀川市下小山田区内における雑木林の伐採が完了しました。この道路では冬季間にトラックがスリップする事故が発生、地元の方々から道路の凍結防止のために雑木林の伐採について要望がありました。今年3月に県土木事務所に要望しており、11月下旬に工事が完了しました。下小山田区の方々から「日が差すようになり、これで道路が凍結しなくなる」と喜ばれています。工事関係者の皆様に感謝申し上げます。

